

第1回日本語ボランティア研修会が 開催されました(参加者 41 名) 中村 松男(日本語教室部会)

今年度1回目の研修会が7月16日(水)開催されました。講師は一般財団法人自治体国際化協会から派遣された地域国際化推進アドバイザーの崔英善(チェ・ヨンソン)先生で、テーマは『やさしい日本語』～学習者の視点から見たやさしい日本語—日本語と文化、両方の側面から～

チェ先生は地域の生活者として、また日本語学習者としてのご自身の体験に基づき、外国人にとってわかりやすい日本語はなにか、具体的な事例をあげて話されました。また、日本語の文章構造の複雑さ、語彙数の多さと漢字とかなの併用、曖昧な表現に隠されたニュアンスなどを指摘され、外国人とコミュニケーションをとるために、「やさしく」言い換える事の大切さを説明されました。やさしく言うための例として、①分ける、②整理する、③大胆にというワセダ式三原則や、さらに、受動態、敬語、擬声語を避ける、可能形は「することができる」という、否定ははっきり言うなどのアドバイスいただきました。また、グループワークではイベントの案内チラシを「やさしい日本語」で作りました。チェ先生の学習者の視点からの指摘は説得力があり、日本語を教えるうえで大変参考になりました。

やさしく言うための例として、①分ける、②整理する、③大胆にというワセダ式三原則や、さらに、受動態、敬語、擬声語を避ける、可能形は「することができる」という、否定ははっきり言うなどのアドバイスいただきました。また、グループワークではイベントの案内チラシを「やさしい日本語」で作りました。チェ先生の学習者の視点からの指摘は説得力があり、日本語を教えるうえで大変参考になりました。



